

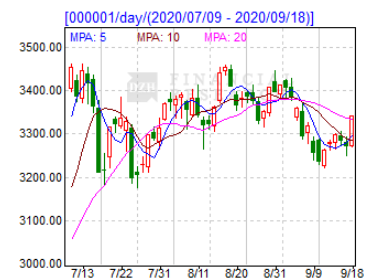


【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	19年末株価
NYダウ	27,657.42	-244.56	-0.88	-0.03	-3.09	28,538.44
NASDAQ	10,793.28	-117.00	-1.07	-0.56	20.29	8,972.60
日経225	23,360.30	40.93	0.18	-0.20	-1.25	23,656.62
上海総合	3,338.09	67.65	2.07	2.38	9.44	3,050.12
滬深300 (CSI300)	4,737.09	104.37	2.25	2.37	15.64	4,096.58
ハンセン	24,455.41	114.56	0.47	-0.20	-13.25	28,189.75
中国企業	9,803.10	70.95	0.73	0.52	-12.22	11,168.06

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は0.2%安と3週続落、上海総合指数は2.4%高

香港市場ではハンセン指数が0.2%安と3週続落した。週前半はFOMCを前に様子見ムードが強まったが、中国の主要経済指標が総じて堅調だったことで15日まで3日続伸。16-17日は米ハイテク株安や米中対立が警戒されて売られる展開となったが、週末18日は世界的な金融緩和の長期化を受けた資金流入期待を背景に3日ぶりに反発した。本土市場では上海総合指数が週間で2.4%高と3週ぶりに反発。週前半は景気回復期待を背景に堅調に推移。16-17日と続落したが、週末18日には節目の3300ポイント台を回復した。

今週の展望:香港市場は弱含みの展開か、欧州で新型コロナウイルス感染が再拡大

香港市場は弱含みの展開か。欧州の新型コロナウイルス感染再拡大で都市封鎖懸念が高まっているほか、米中対立の激化懸念が引き続き意識されそう。世界の大手金融機関がマネーロンダリングに利用された可能性があることと報じられたこともマイナス要因。米中対立を巡っては米国でのWeChat禁止の大統領令に連邦地裁が一時差し止めを命じるなど状況は流動的だが、中国側が対抗措置を打ち出すなど関係は泥沼化している。本土市場も米中対立激化や景気対策期待の後退を受けて今週は弱含みの展開が予想される。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 チャイナ・ユニコム (00762)	5.73	6.11
2 華潤置地 (01109)	36.05	3.89
3 舜宇光学科技 (02382)	122.90	3.89
4 萊明生物技術 (02269)	191.10	3.69
5 Link REIT (00823)	65.15	3.66
6 中国平安保険 (02318)	83.70	3.08
7 創科実業 (00669)	100.00	2.62
8 九龍倉置業地産 (01997)	32.25	2.54
9 恒安国際集団 (01044)	58.60	2.45
10 香港鐵路 (00066)	40.35	2.28

▼騰落率下位	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 中国蒙牛乳業 (02319)	35.15	-5.38
2 中国中信 (00267)	6.35	-5.37
3 小米集団 (01810)	22.05	-5.16
4 HSBC (00005)	30.95	-4.03
5 中国海外発展 (00688)	20.35	-4.01
6 中銀香港 (02388)	21.60	-3.79
7 銀河娛樂 (00027)	57.75	-3.43
8 太古A (00019)	39.15	-2.49
9 長江実業地産 (01113)	39.90	-2.44
10 碧桂园 (02007)	9.40	-2.08

▼今週の主なイベント

- 9月24日(木)
- 【香港】貿易統計(8月)
- 9月27日(日)
- 【中国】工業企業利益(8月)

▼今週の期待材料

- ◆米カリフォルニア州北部地区連邦地裁がWeChat禁止の米大統領令に対して一時差し止めを命令
- ◆中国の主要経済指標が軒並み改善、8月の小売売上高は0.5%増と今年初めてプラス成長を回復
- ◆中国で10月1日から1週間の国慶節連休、消費や観光需要の回復に期待が高まる公算

▼今週の懸念材料

- ◆欧州で新型コロナウイルスの感染が再拡大、英国では10月中旬までに1日の新規感染者が5万人に達する可能性も
- ◆世界で大手金融機関の株価が下落、世界の大手金融機関を舞台にした巨額のマネーロンダリング疑惑が浮上
- ◆中国政府が中国の主権や安全、中国企業の利益を損ねた外国企業に制裁を科す新制度を導入

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ テンセント (00700) : 米連邦地裁がWeChat禁止の大統領令に一時差し止め命令
- ☆ チャイナ・ユニコム (00762) : 8月の5G・4G加入者数が158万件の純増
- ☆ ネットドラゴン (00777) : 教育事業を手掛ける会社の買収を協議
- ☆ 中国南方航空 (01055) : A株転換社債の発行を証券当局が認可、160億元を調達
- ☆ サンズ・チャイナ (01928) : 23日付で中国本土からのマカオ観光ビザ手続きが再開
- ☆ 玖龍紙業 (02689) : 20年6月決算は7.5%増益、原料コスト低減で利益率が改善
- ☆ 中国銀行 (03988) : Tier2資本性債券の発行が完了、750億元調達で資本増強
- ☆ アリババ集団 (09988) : 傘下の阿里雲が新華人寿保険と戦略提携で合意
- ★ HSBC (00005) : マネロン疑惑が浮上、投資詐欺と知りつつ不正送金を容認か
- ★ ASMパシフィック (00522) : 「株式非公開化を検討」とのロイター報道を否定

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。